

第4回親育ち支援地域別連絡会（中部1グループ）

令和5年12月6日（水） 土佐町保健福祉センター

今年度の取組の
振り返りをしよう！
パート2

今年のテーマ（ゴールイメージ）

見方が変わるとみんなが仲間 子どもを真ん中につながるンルン♪
～発達の理解を通して子どもや保護者にとって
よりよい関わり方を見つけよう～

今回は、自園の取組・市町村の取組の成果と課題を話し合いました。でも、その前に、まず今年度の学びを受けた自分たちの変容と向き合うことから始めました。そんな連絡会の様子をちょっと紹介！



この変容は
成果の具体的な姿！

★悩んだ事例を持ち寄った6月から、みんなで学びを深めてきた今、自分にどんな変容があった？★

- 自分の保育を見直して、子どもが真ん中という意識を強くもつようになった。保護者をお願いしたいこともある。けれど、子どものためにまず自分たちができることがあるんじゃないかと考え保育しようとするようになった。
- 伝えたいことが分かる書き方になっているか通信を見合うようになった。
- 対応や経緯などを文書化し残すようにしている。振り返りや把握にもつながり、事前に予防できることも増えてきた。

などなど たくさんの変容が♪

成果

園内で学びを伝えるだけでなく、実際に普段の保育から声を掛けやすい雰囲気をつくることで、子どもや保護者、自分たちの保育の見方や捉えを変えるきっかけづくりにつながっている。

課題

実際は、親育ち支援に対する理解が保護者や市町村、また先生たちにも十分に図れていない面が感じられる。そのためにリーダーとしてできること…と考えると、「4月に写真付きの自己紹介を作る時に役割も書いて掲示し、市町村には回覧してみたら？」「親育ち支援担当者って一目で分かるようにワッペンを作ってつけてみない？」など理解・周知につなげるいろんなアイデアをたくさん出しあえました！「中部1Gのリーダーみんなでそれやってみん？」そんな声も聞こえてきました！

